

令和2年度「まちづくり懇談会」意見交換概要

1. 開催概要

今年度のまちづくり懇談会は、11月2日から11月27日の期間中、市内7会場にて開催し意見交換を実施しました。

主催者挨拶、名寄市長挨拶の後、市からのお知らせ2件を報告いただき、意見交換を行いました。その後、日頃の市政に対する質疑・要望などについて、市の各担当部局からご回答をいただきました。当初は例年同様、市内9か所での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を警戒し、風連日進会場と東風連会場での開催を中止とさせていただきます。また、入場の際の検温と手指の消毒、マスクの着用を徹底したほか、30分に一度を目安とした換気をするなど、感染症対策を講じながら実施しました。

各会場での参加状況や皆様からの質疑・要望については次のとおりとなっています。

2. 開催次第

1. 開 会

2. 主催者挨拶 名寄市町内会連合会会長 中 村 雅 光

3. 市 長 挨 拶 名寄市長 加 藤 剛 士 様

4. 市からのお知らせ

- ①令和元年度名寄市の台所事情
- ②名寄市合同墓の運用について（案）
- ③コミュニティスクールの導入について
- ④南保育所の整備について
- ⑤新型コロナウイルス感染症の対策について
- ⑥その他

5. 意見交換

市政への提言・意見・質問など

6. 閉 会

3. 開催日時・会場及び参加状況

日時	会場	参加者数	備考
11月2日(月) 18:30～	名寄市役所名寄庁舎4階大会議室	27人	
11月4日(水) 18:30～	総合福祉センター1階多目的ホール	16人	
11月5日(木) 18:30～	名寄東小学校2階多目的ホール	14人	
11月9日(月) 13:30～	市民文化センター1階大会議室	19人	
11月9日(金) 18:30～	風連瑞生コミュニティセンター	29人	
11月24日(火) 13:30～	智恵文多目的研修センター2階大集会室	9人	
11月25日(水) 13:30～	風連日進コミュニティセンター	-	中止
11月26日(木) 18:30～	東風連子供と老人福祉館	-	中止
11月27日(金) 18:30～	ふうれん地域交流センター大ホール	24人	
参加者合計		138人	

4. 懇談会質疑内容

質疑項目

- ①令和元年度名寄市の台所事情
- ②名寄市合同墓の運用について(案)
- ③新型コロナウイルス感染症の対策について
- ④その他

I 令和元年度名寄市の台所事情

(1) ふるさと納税について

ふるさと納税で発生した収入はどの項目に入るのか。また、どれくらいの金額なのか。

回答：副市長

「その他」の項目には寄付金や財産収入などが含まれているが、そのうちの寄付金にふるさと納税での収入が入っている。

回答：総務部長

令和元年度決算でふるさと納税は4,912万円となっている。

Ⅱ 名寄市合同墓の運用について（案）

（１）個人で収容しきれない骨について【11/2 名寄庁舎】

名寄市に古くから住んでいる方は、所有している墓に収容しきれなくなることが予想される。今お墓の中に入っている骨を何体分か合同墓に移したいという話がこれからでてくると思うため、今の合同墓の使用条件（名寄市営の墓地・霊園を使用している場合、合同墓に改葬し墓地霊園を返還する）は改正の余地があると思う。

回答：市民部長

想定していなかった例であるため、ご相談を受けた段階で協議をしていきたい。

（２）完成図や納骨の手順について【11/4 福祉センター】

今後は広報誌などで周知をしていくと聞いたが、完成図や実際に埋葬される手順を教えてほしい。

回答：市民部長

市広報誌に完成図や手順をできるだけわかりやすく掲載する。

（３）構造や名前の取り扱いについて【11/5 名寄東小学校】

外観や納骨スペースなどのレイアウトができていいのか伺いたい。また、墓誌は設けないとあるが、名前の取り扱いについて教えてほしい。

回答：市民部長

合同墓自体はほぼ完成した状態。正面に「合同墓」という文字を入れている。スペースとしては、墓地の4区画分を整備した形であり、高さが2メートルほどとなっている。また、墓誌の関係については、名風聖苑の中に紙で名簿を用意したいと考えており、申請があった段階で遺族からの要望があれば、市が墓誌に登載したいと考えている。今後、市広報誌で周知をする際には写真を掲載するなど、分かりやすい形をとりたいと考えている。

（４）納骨費用や生前予約、納骨数の上限を超えた場合の対応について【11/9 市民文化センター】

納骨費用は1度払ったら、その後料金が発生することはないのか。また、生前の予約はできないとあるが、その理由を伺いたい。さらに、納骨数の上限である1,500体を超えた場合の対応についても伺いたい。

回答：市民部長

納骨費用については一体当たり15,000円を1度お支払いいただくのみとなる。その後の管理費などの費用負担をしていただく必要はない。生前予約を受け付けていない理由として、本人の意向と家族の思いが必ずしも一致しない場合が多いことを挙げている。アンケート調査でも、本人は家族に負担をかけたくないという思いから、合同墓を利用したいとの意見があったが、遺族の方がそう思っ

いないというケースも多々あると聞いている。普段から家族の方とお話しいただき、万が一のときには合同墓を利用したいとの意向を伝えておいていただきたい。また、1,500体を超えた場合の対応については、新たな合同墓の整理などを検討しなければならないと考えている。50年で1,500体という想定で進めている。

(5) 内部の構造について【11/9 風連瑞生】

内部構造がどのような形になっているのかよくわからなかったので、伺いたい。

回答：市民部長

配布した資料の写真中、合同墓の正面に黒い鏡開きの扉があるが、ここから焼骨を入れる。その奥に大きな空洞があり、ここの地面は土となっている。

(6) 設置方法と無縁仏について【11/9 風連瑞生】

この合同墓は新設か改設か教えてほしい。また、無縁仏はこの中に入るのか。

回答：市民部長

この合同墓は新設となる。また無縁仏の関係については別のものとなっており、ご遺族がわからず遺骨の引取り手がない場合について対応となるが、合同墓については、ご本人やご遺族の意向に基づき、利用していただく形になる。

(7) 骨壺について【11/27 ふうれん地域交流センター】

納骨した後、骨壺はどのようにするのか。

回答：市民部長

骨壺については、基本的にはお持ち帰りいただき、それぞれで処分していただくことを想定しているが、事情があって持ち帰ることができない場合は、市で処分したいと考えている。

Ⅲ南保育所の整備について

(1) 市内の保育所の更新について【11/9 市民文化センター】

以前、西保育所と東保育所の今後の運用についての報道があったと思うが、市としての方針を教えてください。また、それはどのような予測に基づいて決定されたものかをお聞きしたい。

回答：健康福祉部長

市街地区の3つの保育所の老朽化が進んでいるため、それらについては整備を進めたいと考えている。先行して南保育所に取り組みしており、令和5年度中に完成し、南保育所の所児についてはその年度中に新しい保育所に入る予定となっている。令和6年度4月からは西と東保育所の所児を一部入れながら運営する。その後は市街地北側にも1か所の保育所を建築をしたいと考えており、最終的に市街地区においては2か所の保育所を運営したいと考えている。子どもの出生状況も勘案しながら、設置場所の検討を進めていきたい。統合というよりも、北と南側の2か所に設置したいという考えで進めている。

IV新型コロナウイルス感染症の対策について

(1) 飲食店の感染拡大予防策、情報公開、市立病院の機能について【11/4 総合福祉センター】

飲食時の感染が多いと報道されているが、市内の飲食店の中には全く対策がなされていない所もある。これに対する指導の現状を教えてほしい。また、個人情報保護の観点から、北海道は感染者の情報がだまかにしか公表しない上、旭川市を中心に上川総合振興局管内でも感染者が増えていることから、市民が不安を感じていると思う。さらに、感染が疑われる場合はかかりつけの医療機関に行くように指導されているが、PCR検査が可能で入院できるのがどこなのか伺いたい。

回答：経済部長

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済回復の両方の対応をしている。市は経済団体と協力しプレミアム付き商品券の発行を支援したが、非常に好評で短期間のうちに売り切れた。地域経済の回復にご協力をいただき、あらためてお礼を申し上げたい。店舗に対しては新北海道スタイルに則り、感染拡大防止策の周知と徹底を依頼している。市及び経済団体などでは、数店だが実際店舗をまわり、どんな対応をしているか確認・啓発を行った。商工会議所からは消毒液を配布するなどし、協力を依頼している。店によって温度差があることは認識しているので、今後も経済団体と連携しながら啓発あるいは指導も含めて一層取り組んでいく。

回答：健康福祉部長

感染者の情報公開は、国・北海道が慎重に行っている。感染した方や医療従事者、関係者の子どもが誹謗中傷の被害に遭う例もあり、公表には非常に慎重になっている。北海道が感染した方に聞き取りをし、同意があった範囲で居住地や年齢などの情報を公開している。同意が得られた部分についてのみ市に情報が入る。自分の身を守るためにも、どの地域で感染者が発生しているかということに多くの方が関心を持っていることは理解しているが、先ほど話したとおり、感染した方や医療従事者を守る必要があるため、現在の情報公開の状態となっている。市内で発生した場合、感染拡大を防止するためにも、北海道と十分協議を行い情報提供のあり方について検討し対応する。

回答：病院事務部長

新型コロナウイルス感染症で入院できる医療機関については、北海道が重点医療機関および協力医療機関を指定したと発表したが、病院数までしか公表していない。病院名まで公表すると、その病院に患者が集中することから公表しないこととしている。名寄市立総合病院は第二種感染症指定医療機関に指定されているため、感染棟を従前から用意している。上川北部医療圏の中では感染症に対応できる病院は当院のみという状況である。名寄市立病院ではPCR検査を能力は持っているが、現在採用している検査方法はPCR法とは異なる、国で認められた検査法である。

(2) 市の相談窓口について【11/5 名寄東小学校】

新型コロナウイルス感染症に感染したかどうか市に相談したい場合は、保健センターで良いのか。

回答：健康福祉部長

市への相談は保健センターにしていきたい。

（３）市外からの入院患者について【11/5 名寄東小学校】

名寄市立総合病院はこの地域の中心的な病院になっているが、新型コロナウイルスに感染した市外の方が入院しているのか。

回答：病院事務部長

新型コロナウイルス関連での入院状況の公表についても、法律上北海道知事が行うということになっている。当院で受け入れているかどうかについても保健所から一切公表してはならないとの通達が来ている。当院にどのような患者が入院しているのかというのは個人情報になるので、従来から公表していない。

（４）市内での感染症発生時の対応について【11/9 市民文化センター】

万が一、市内で感染者が発生した場合、この地域でどのような対応をとるのか教えてほしい。名寄市立病院では複数の対応ベッドがあると聞いているが、事実を確認したい。また、情報を公表しないことが続くと、風評被害が発生する可能性があると思う。

回答：健康福祉部長

同居人数や職場の規模などにより、ケースバイケースで対応をせざるを得ないと考えている。保健所の対応になるが、早急に濃厚接触者を隔離し、感染拡大を防ぐことが最善である。その後は消毒作業など様々な作業に移っていく。北海道では新型コロナウイルス感染症の受け入れ病院を指定しているが、これについては一切公表していない。これは医療従事者やその関係者を誹謗中傷などの被害から守るためでもある。感染者の発生状況によって対応は大きく変わると考えられるが、北海道と連携を取り、感染拡大を防止するために早急に対応をしていきたいと考えている。感染者については北海道が公表することになっているため、基本的に名寄市から公表しない。小樽や旭川、函館など保健所を持っている自治体は公表できるが、それ以外は全部北海道からの公表ということで、名寄市にも北海道から公表される情報しか基本的には入ってこないという状況である。

回答：副市長

市で保健所を持っている自治体と、道の保健所で公表の方法が異なることにより、誤解を招いている可能性がある。名寄市立病院については、感染症対策用の病床が4床ある。また、国からの補助もあり、発熱外来の設置を進めている。感染症対策については、情報が入り次第様々な形で発信させていただく。

（５）自宅待機時の対応と病床の確保について【11/9 市民文化センター】

病床数が逼迫した場合の感染者や濃厚接触者など、感染者が入院せず2週間ほど自宅での療養・隔離になる場合もあると聞いた。その場合、外出できないため買い物なども不可能になるが、その分の補助や補償はあるのか。また、今後この地域で多くの感染者が出た場合、他の地域のようにホテルを借りきって対応するなどの予定があるのかお聞きしたい。

回答：健康福祉部長

検査で陽性反応が出た場合は基本的に入院となる。濃厚接触者で陰性反応が出た場合は、基本的に2週間は自宅待機をしていただくことになる。その場合の対応はケースバイケースになるが、例え

ば市職員が感染した場合、家族や同僚が日用品や食料を届けるなどする。独居世帯などについては、市で把握している情報をもとに、ヘルパーや地域包括支援センターで対応すると考えられる。病床の確保については、北海道が担当となっている。

（６）市の役割と検査体制について【11/9 市民文化センター】

新型コロナウイルス感染症が発生した場合、最初に対応するのが北海道であるとのことだが、市民が一番頼りにするのは市役所だと思う。北海道の指導あるいはマニュアルが市民全体に行き渡っているかという検証を名寄市がすべきではないか。北海道が果たすべき責任が多いと思うが、市の役割も多いと思っているので地域の声を聴いて対応に当たってほしい。また、医療施設や介護施設で働いている方々へのPCR検査の体制を北海道と連携して確立してほしい。

回答：健康福祉部長

1点目の行政の責任について、感染者が発生した場合、現場対応に当たるのは名寄市であるため、責任持って動きたいと思っている。ただし、感染の疑いが出た場合は全て北海道が対応することとなっており、これはさらに濃厚接触者を増やさないためのものであり、経験を持っている北海道、あるいは保健所が動いて濃厚接触者の行動履歴の確認など様々な情報を確認し、必要な情報を自治体に引き継いでもらう。その後、消毒等を実施するのは自治体であるので、北海道や保健所の指導を受けながら対応することとなっている。感染の様々なパターンを公表したらいいのではないかとご意見があったが、多くのケースがあり混乱を呼んでしまう可能性があるため、感染者や濃厚接触者へは、北海道・保健所を通して市がすぐに対応する。医療施設や福祉施設の検査について、万全を期すためには毎日検査しないとならない状況になる。名寄市立病院では、PCR検査と同等の検査が可能だが、1日に対応可能な件数は条件が整った状態で最大100件、状況によっては1日数10件しか検査ができず、定期的に検査を実施するのは物理的に難しい状況だと思っている。

（７）感染が疑われるときの相談について【11/9 市民文化センター】

感染が疑われるときに、「かかりつけ医に相談してほしい」や「フリーコールに電話をしてほしい」などとお知らせがきているが、そのかかりつけ医とはどれくらいのものを示しているのかわからない。フリーコールもどのような対応をされるのかわからない部分が多い。上記のことから、市を頼ることが多いと思うので、もう少しわかりやすく市民に伝達してほしい。

回答：副市長

皆さんから一番身近なのは保健センターだと思うので、不明な点は電話をして確認してほしい。市の中でも対応のあり方について整理したい。一連の対応の流れを作って皆さんにお知らせしたい。

（８）市立病院の収容体制について【11/9 風連瑞生】

市立病院に新型コロナウイルス感染者をどの程度収容できるのか。また、札幌などでは軽症者はホテルなどに入ってもらうといった対応をしていると聞いているが、名寄市としてはどのような対応をするのか。

回答：健康福祉長

基本的に新型コロナウイルスの感染については、感染者が入院している病院の公表をしていない。

ご承知の通り、医療従事者やその家族がいじめや差別に遭わないようにするための対応である。名寄市立病院については、第二種感染症指定病院ということで特定の感染症患者を3室4床で受け入れることができる。北海道の方では、各病院の病床数追加や、軽症者のホテルでの受け入れなどの対策を実施している。感染者の受け入れについては北海道が対応している状況で、それぞれの指定病院についても受け入れ体制を最大限用意していると聞いている。北海道の方で情報を把握をしながら、受け入れ体制については整えている状況であるのでこの場ではお答えできないが、感染者の受け入れが追い付かない状態にならないための対策を北海道では講じていると聞いている。

（9）後遺症への対応について【11/25 ふうれん地域交流センター】

新型コロナウイルス感染症で記憶障害や過呼吸器障害など後遺症が出ることがあると聞いた。そういった部分で名寄の医療体制がどのようになるか教えていただきたい。

回答：市立病院事務部長

後遺症が発生しているケースもあるということだが、これは季節性のインフルエンザなどでも起こりうる状況と、確率的にはほぼ同一ではないかと見ている。現状報告をされている中では、後遺症が発生する可能性はかなり確率は低いのではないかとされている。万が一後遺症を発症しても当院の方で一定の治療はできると考えている。また、専門的な知見が必要な場合には医師の判断により、近いところであれば旭川医大などの専門分野の先生方ご紹介をしていき、場合によっては北海道内のまた違う病院の専門の先生にご紹介をしていくというような形になっていくのではないかと考えている。

（10）感染者の情報公開について【11/25 ふうれん地域交流センター】

感染情報の公表に関して、プライバシーについては十分配慮することだが、特に過疎地域だと様々な情報が錯綜してしまう。北海道からの情報だと、上川北部地域ということで総括して出てくるため、名寄市のことなのかもわからない。具体的に名寄市での感染者がどれほどいるのかなど知りたがっている住民も多いので、可能であれば教えてほしい。

回答：健康福祉部長

感染者の情報公開については問い合わせをいただいているが、基本的に名寄市が公表できないことになっている。保健所を設置している北海道や自治体が保健所を設置している札幌・函館・旭川・小樽では公表することができる。情報公開にあたっては、本人のプライバシーを保護するために、性別・年齢・居住地などを一人ずつ本人に聞き取りし、本人が公表を許可した部分だけ公表している。そのため、自治体名や職業など本人が許可した場合は公表されているが、それ以外は非公表となる。様々な情報を発信し、不確かな情報を拡しよくする必要性はあると考えているが、罹患した方のプライバシーを守ることに重点を置きたい。

V 市政への提言・意見・質問など

（1）スキー場リフト料金の改定について【11/2 名寄庁舎】

リフト料金改定により利用者を増加させ、飲食での収入増加を図っていくということに共感できる。しかし昨年利用したときに、ロッジの中が非常に混雑していて場所の確保が難しく、なかには荷物を

イスや机に置き陣取っている方も見られる。改善を図ってほしい。

回答：経済部長

いただいた内容を公社へ伝え、改善を図りたい。

(2) 市HPの更新について【11/2 名寄庁舎】

市のHPに誤った内容のものが掲載されているのを見かける。掲載内容を精査してほしい。また、日付の間違いも多く見られる。間違いがないかももう一度確認してほしい。

回答：総務部長

庁内において市HPに誤った情報が掲載されていると注意を促した。また、掲載してから時間がたち、情報が古くなっているものもあるかと思うので、今一度所管の公開情報を確認してほしいと伝えた。以後このようなことがないように注意する。

回答：副市長

昨年もこのような話があったかと思う。改善されていない原因は、注意不足や決裁ルートなどの仕組みの問題もあるかと思う。あらためて会議等で連絡し、管理職が精査するように改めたい。HPそのものも若干見にくくなっていると思うので、将来的に改修も含めて検討させてほしい。

(3) 市民への説明について【11/2 名寄庁舎】

市の職員の市民に対する説明不足がある。条例や規則で決まっているものについても、背景的なことを市民に説明しないと納得は得られないと思う。

回答：総務部長

研修を通して、市民が納得できるような説明をできるよう今後も指導していきたい。

回答：副市長

根拠となる法律や条例を現場に落とし込めていなかったり、見えていないというご意見かと思う。あらためてどこかの機会で私の方から職員へ話す機会も設けたい。

(4) 高校の新学科設立について【11/2 名寄庁舎】

名寄は幼稚園や小中学校での特別支援に関してとても素晴らしい取り組みをしていると思う。大学でも社会福祉や保育に力を入れており、就労支援にも積極的に取り組んでいると思う。しかし高校だけが抜けているように感じられる。今回の高校再編に当たり、特別支援や福祉を目的とした学科を新設するとか、ほかの地方から生徒を取り入れるために、福祉学科創設などの検討はしているのか。

回答：教育部長

高校の特別支援に関しては、特別支援学校の設置ということで進んでおり、普通科で小中学校のような特別支援学級を設置というのは、難しいと思われる。道でも普通科・特別支援学校というような区分をしている。市内の高校統合に向けて、市としても様々な要望をしており、現在は普通科と職業学科の設置を要望している。福祉系の学科設置となると、近隣の高校と競合するということもあるの

で、今後も検討を続けたい。

回答：副市長

高校を再編して、たくさんの高校生に来ていただくことは至難の業であろうかと思う。先ほどの話のとおり近隣の高校と競合する可能性もある。時間のない中ではあるが、様々なアイデアをいただいて進めていきたいと思う。

（５）まちづくり会社について【11/4 福祉センター】

まちづくり会社について、全体的な将来像や目的が見えてこない。どのような役割を果たしているのか教えてほしい。

回答：総合政策部長

まちづくり会社が商工会議所で作られたが、正式に設立されてから行政側とのやり取りはできていない状況。我々も報道で知る部分しかないが、会社側の意向としては、大学の学生寮を作りたいだとか、図書館についての構想をこれから詰めていきたいといったものがあると聞いている。具体的な話が出されたら、行政側の考えを伝えていきながら、連携してやっていけるのかを今後詰めていかなければならないと思っている。

回答：副市長

これからのまちづくりには官民連携が必要となる。民間企業であるまちづくり会社の方で、まちづくりに力をいれていくというのは行政側からもありがたいこと。しかし、まちづくり会社と行政側の意見交換を少しずつ増やしていくという作業をこれからやらないとならない。例えば市の公共施設も古い物がたくさんある。中心市街地をどうするかという議論もあり、官民間わず空いている土地や古くなっている建物をどのように使っていくか考えることが必要となる。行政側がやることとまちづくり会社がやることの振り分けをしなければならない。まちづくり会社が先行している状況だが、お互いどのようなまちづくりにしていくかというのは一致している。逐次どのような状況になっているかというのは報告する。

（６）高校の再編について【11/4 福祉センター】

中学校の卒業生の一部が旭川に進学していると聞く。少子化の影響もあるが、学力レベルの問題もあるのかと思う。そのこととあわせて高校の併合について伺いたい。

回答：教育部長

令和２年度の市内２校の生徒数は平成２３年度と比較し２００人程度減少している。単純に少子化問題も原因の一つとしてあるが、市内から市外の高校へ進学する生徒も多く、市内２校へ市外から通う生徒が多い。これがだんだんと顕著になってきている。本市としてもなぜこのようなことになっているかを考えるべく、「名寄市内高等学校魅力化推進委員会」を設置している。もともと市内２校の在り方を考える、「在り方検討会議」を平成２８年から設置して、様々な議論を重ね、地元としてこのような学校にしてほしいというものを北海道教育委員会へ提出もしている。魅力化推進委員会は在り方検討会議のメンバーとは違った立場の方々に委員への就任を依頼している。子どもたちの保護者や、農協青年部の方、商工会青年部の方などに委員になってもらっている。２つの組織の中で議論を

し、道教委へ要望を挙げていきたいと考えている。それぞれの個人が将来を考えていく中で、いかに地元の高校を選んでもらえるよう対策を考えたい。

（7）高校の魅力化と情報公開について【11/4 福祉センター】

名寄の教育をどうするかということ考えるためには、みんなの声を聴いて、それを反映させていくということが筋だと思う。あり方検討会議が平成28年から開かれていると聞いたが、一般の方への案内やそれぞれの学校の先生への案内はなかった。ほとんど商工業関係の方や、同窓会などの方たちでやっている。道教委のアンケートの内容を見たところ、名寄の高校をどうするかという視点ではなかった。一方では魅力ある高校づくりのために議論をしており、かみ合っていないように思う。委員の選び方や関連する情報を公開して市民から忌憚のない意見が聞かれるような行政であってほしいと思う。

回答：副市長

市民の声をもっと丁寧に拾いそれを反映し、行政が明確なうちだしをすること、それらをあわせて情報を公開して市民にフィードバックすること、それをしないから掛け違えているのではないかのご意見だと思う。あらためて議論し情報を公開する。

（8）スキー場料金改定とコロナ禍での利用者について【11/5 東小学校】

利用料金を算出するために用いた利用者数と小学生を無料化した理由を教えてください。また、コロナ禍でスキー授業が少なくなると思う。子どもが今まで以上にスキー場へ行かなくなるのではないか。

回答：産業振興室長

スキー人口に関して、利用総数48,000人程度の中で、小中学生のスキー人口を把握するのは難しい。小中学生を無料化することでその分については収入が減ることにはなるが、それを補えるだけの利用者の子もたちが来場し、スキーリフトだけでなく飲食なども使っていただく他、その保護者にも来場いただくといった形でこの分を補うというような試算をしている。

回答：教育部長

小中学校のスキー授業について、今のところ例年通りスキー授業については実施したいと考えている。回数としてはおおむね各学校ともに1学年2回程度実施する予定。体育館で体育授業をすることと違い密を避けることにもなるため、スキー授業については例年通りの授業をしていきたい。

（9）バス停について【11/5 東小学校】

町内会内の団地にあるバスの停留所について、利用者の多くが高齢者であるため、椅子を設置していただきたい。冬季間のために、小さな待合所を設けてもらえるとありがたい。

回答：総務部長

バス停はバス会社が設置しているため、ベンチなどを設置する場合はバス会社との協議が必要。現在、設置されているベンチは、市設置のほか、様々な団体から寄贈を受けている場合もある。設置にあたっては冬期間の管理や汚れた時の対応など、様々な課題が出てくると思うため、改めて協議させ

てほしい。

(10) 市営住宅の草刈りについて【11/5 東小学校】

市営住宅の中で草刈りができていないところある。基本的に入居者が草刈りをすべきだと理解しているが、高齢世帯だとうまくいかないのが現状である。そのような場合の取り決めがあるのであれば教えてほしい。

回答：建設水道部長

市営住宅の共用部分の管理については、入居者の皆さんやそこで組織している自治会の中で実施することになっているが、現状把握のため、建築担当により現場を確認したい。

(11) 感染症流行時の避難所運営について【11/5 東小学校】

感染症の流行により間隔をあけるため、避難所の収容人数が減少すると思う。現状のままでは避難した場合に入りきれないということになってくると思うので、今後の運営方法を検討してほしい。また、各町内ごとに避難できるような形を取れたら良い思っているので、説明会を設けてほしい。

回答：総務部長

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、避難所運営についてもこれまでと異なる状況になっており、避難所入り口での検温や消毒液の設置、発熱している方用の部屋を設けるなど様々な対策が必要になる。今年の防災訓練は当初、市民・町内会の皆さんにご協力いただきながら実施しようと考えていたが、現状を踏まえ、市職員を対象にコロナ禍における避難所運営に係る防災訓練を開催する方向で検討している。避難所を設置する際には、避難所での感染リスクを避けるため、マスクなどあらかじめ市民の皆さんに準備してほしい物品等もあり、今後も様々な機会を活用して皆様に周知したいと考えている。

(12) 健康の森の管理について【11/5 東小学校】

健康の森は開設から年数が経ち、予算の範囲内で管理をするのは大変になってきていると思う。中でも池は水草が繁茂し見栄えも悪くなっているので、ぜひ対応してほしい。健康の森は振興公社の管理委託になっているかと思うが、専門的な知識のある方もいるようにも見えないため、振興公社に委託するのは難しいのではないかと思う。

回答：副市長

健康の森の池は気になっていた。公社のスタッフも非常に気にかけているようだった。できるだけご期待に添うような形で来年度はやらせてもらいたい。何年かいただくことになるかもしれないが、見た目が悪いのは間違いないと思うので、市とも相談しながら進めたい。

(13) まちづくり会社について【11/5 東小学校】

まちづくり会社を名寄商工会議所で設立をしたと聞いた。この会社が作られた経緯と、大学の学生寮など固有の名前が出てくる理由、出資の内訳についても教えてほしい。

回答：副市長

数年前、商工会議所から中心市街地のあり方についてアイデアをいただいたことがあった。その後、市の方で「都市計画マスタープラン」、「立地適正化計画」を策定したこともあり、改めて商工会議所でまちづくりのためになれるものを立ち上げることになったと認識している。大学の学生寮など様々な話が出ているが具体的なものではなく、案の一つであると思われる。今後、市からもまちづくり会社に対して施設のあり方についての提案や土地の情報などの意見交換をしながら具体案を形成していくものと考えている。これからまちづくり会社がどのようになっていくか関心を持っている。

現在、出資については商工会議所 100%で進んでいると聞いている。この先お互いどのように協力しながらやれるかというのが、一番大きな鍵になるかと思う。

(14) ごみの回収方法について【11/5 東小学校】

旧風連町と旧名寄市が合併して10年以上経過したが、ゴミの収集方法がいまだに異なる理由を教えてください。また、旧風連方式と旧名寄市方式では、費用が掛からないのはどちらか。

回答：市民部長

風連地区と名寄地区ともそれぞれ合併前の慣れ親しんだやり方を継承している。今現在、高齢化が進んでいる中で、ゴミステーションまでゴミを運ぶのが困難な世帯が増えているといった状況を踏まえ、将来的な収集方法の見直しなどについても検討していく必要があると考えている。また今年の10月より、ゴミ出しが困難な居宅介護サービスを受けている方については、ヘルパーなどが訪問した際に、市が設置したゴミステーションにゴミを持ち帰ることを可能とした。

以前、風連地区と名寄地区それぞれの一人当たりの費用を算出した。その結果、名寄地区は一人当たり4,294円、風連地区は4,189円となった。風連地区が戸別収集にした場合は、現状ではゴミを収集する人手が足りないなどの問題があり、費用が大幅に上がるのではないかと考えている。

(15) 中心街の再開発について【11/5 東小学校】

栄町や緑が丘、北斗団地などに高齢者や障がいを持った方などが居住しているが、名寄市として中心街に市営住宅を作る案はないのか。名寄市の中心市街地に市営住宅があれば巡回バスを利用しなくても通院や買い物が可能になると思う。

回答：建設水道部長

現状の市営住宅については、平成29年3月に公営住宅長寿命化計画を改正し、その計画に基づきながら整備修繕等を実施している。現段階においては中心街に市営住宅を建設する予定は持ち合わせていない。現状では、900戸ほどあった管理戸数を760戸まで縮減するような計画を持っており、人口減少など様々な状況を勘案し、整備計画を進めている。

(16) 無料バス路線について【11/5 東小学校】

一部の路線バスが無料になっているが、その理由を伺いたい。また、市から補助が出ているのであれば、その額を教えてください。

回答：経済部長

日進ピヤシリ線については、日進橋を越えたところで乗り降りをする、その区間は無料で利用で

きる。健康の森や天文台、サンピラーパーク、スキー場、温泉などの施設を多くの方にご利用いただくために、利用促進と利用者の負担の軽減策を講じている。市からバス会社へは年間 250 万円ほど支出している。

(17) 地震災害について【11/5 東小学校】

河川の近隣地域では地震により液状化現象が起きると聞く。また、名寄市近辺に活断層はあるのか。地震についてある程度の知識を皆さんにお知らせするべきではないのかと思う。

回答：総務部長

名寄市の近辺に活断層はないと聞いている。記録にある中で大きな地震でも震度 4 だったと聞いているが、今後どのような災害が発生するか不明であるため、地震のことも含め対応していきたい。

(18) 植樹マスの除草について【11/5 東小学校】

町内会として春と秋に東小学校横の植樹マスの除草を実施しているが、なかなか作業が進まないという声を聞く。夏の間 1～2 回、市で除草をしていただきたい。

回答：建設水道部長

現場を確認させていただきたい。

(19) 大学公園の維持管理について【11/9 文化センター】

大学公園内に注意喚起の看板が乱立している。景観的に良いものではない上、看板の劣化が進んでおり、近いうちに破損すると思われる。また、同じく公園内にイチョウの木があるが、風雪により傾いているものもある。管轄が異なるため大学では対応できないと聞いた。市民はこういった小さなところにも目が行くと思う。上記の 2 つに限らず、維持管理がうまくできていないことが多いと思う。

回答：副市長

大学公園については現場を確認させていただきたい。

(20) 問題の再発防止について【11/9 文化センター】

下水道料金請求漏れの話があったが、このような問題を発生させないために、もっと細かいところに目を向けるべきだと思う。職員は年度ごとに交代するが、担当が変わったら今までの業務を見直すようなシステムを構築すべきだと思う。

回答：副市長

再発防止に向け、十分に検討したい。

(21) 下水道料金支払い漏れについて【11/9 文化センター】

請求漏れの対象となった方から理解していただいた上で支払方法の相談を思う。行政の責任を果たすという意味でも、不公平がないようにしなければならないと思う。

回答：副市長

対象になった方には職員が訪問し、状況を説明した上で、納付の方法などを相談するという形で進めたい。

(22) 介護報酬の見直しについて【11/9 文化センター】

国の方で介護報酬の見直しがされると聞いている。影響を受ける住民も多く、非常に関心が集まることだと思う。現状を教えてほしい。収入が減少している高齢世帯も多く、生活に圧迫感がある。市は国の決定に従って計画を作成しなければならず、独自で事業を展開するのは難しいと思う。そのため、国や道に対して市民の声を届けてほしいと思う。

回答：こども・高齢者支援室長

現在第8期の計画を策定している中で、令和3年度以降3年間の給付額を試算している。その結果を見ながら最終的な介護保険料について今後詰めていくことになると思う。担当者も介護報酬の改定について注意深く見ており、それを勘案しながら計画の策定に向かう。

回答：市長

保険料などが徐々に上昇しているという状況は承知しており、市長会など様々なところで共有しながら、北海道や国の方に地域の声を届けていきたい。

(23) 災害時の避難場所について【11/9 文化センター】

災害の規模とか状況により避難場所が変わるとされているが、ハザードマップを見ただけではわかりにくい。ハザードマップの在り方や市民への周知について、丁寧に説明してほしい。

回答：総務部長

災害の規模により開設される避難所が決定される。避難所が決まったのち、テレビやラジオ、エリアメール、情報伝達システムなどの伝達手段を用いてお知らせする。近年は气象台などからあらかじめ災害予想が届くこともあるため、情報を収集しながら早めに周知しつつ、対策をとりたい。

(24) ゴミの中間処理施設について【11/9 文化センター】

ゴミの中間処理施設について、地域で2回の住民説明会が行われたが、該当地区だけでなく市民全体の問題として捉えてほしい。

回答：副市長

中間処理施設については、広域での問題でもある。衛生施設事務組合も関係してくるため、内部で整理したうえで市民周知を図りたい。

(25) 立地適正化計画について【11/9 文化センター】

現在、立地適正化計画進められている。高齢者の運転が問題視されている中で、今後は中心部へのアクセス方法について考慮しなければならないと思う。

回答：副市長

立地適正化計画と公共交通の問題にも関わると思う。公共交通網の整備計画は、立地適正化計画と離すことのできない計画であるので、具体的に進めなければならないと考えている。

(26) スキー場リフト料金改正について【11/9 風連瑞生】

シニアとは何歳からか。

回答：経済部長

満60歳以上が対象となる。

(27) スキー場リフト料金改正について【11/9 風連瑞生】

支払うときになるべく硬貨の枚数が少なくなるような金額の方が良いと思う。

回答：副市長

会社の中でもシーズンに向けての検討の材料とさせていただきたい。レストランのメニューなども細かい金額設定で使いづらい部分があるかと思うので、会社の中での検討材料としたい。

(28) 電子マネーの導入について【11/9 風連瑞生】

最近電子マネーの普及が進んでいるが、公共施設などでも使えるとありがたい。

回答：副市長

電子マネーについては、ホテルフロントでクレジットカードの使用は可能だが、全体で使用できる状況ではなく、電子マネーは現時点で使用できないため、会社の中でも、導入の前提となる人員の確保を含め議論したい。公共施設での電子マネーの活用については、市議会議員の皆さんからも質問いただいております、現在検討している最中である。市税の納付など、徐々に電子マネーを普及させて利便性を高めていきたい。

(29) 市立病院について【11/9 風連瑞生】

市立病院に患者が集中するという話を前から聞いている。市立病院と民間の病院とで、患者の割り振りができればよいと思う。市立病院の受付に行けば、民間の方の空いてる病院の受付も済むような連携を望む。

回答：病院事務部長

医師の数が限られている上、手術が入ると診察を受け入れられない時間ができてしまう。

回答：副市長

市立病院の予約ができない場合、他の病院の状況をわかるようにするなど、利便性を高める方策について考えなければならないと思う。民間病院との競合という部分もある。大きな課題として受け止めている。他の地域でいい事例がないか調べたい。

(30) 光回線について【11/9 風連瑞生】【11/24 智恵文】【11/25 ふうれん地域交流センター】

光回線について以前要望調査があった。その後の動きを教えてください。

回答：総務部長

7月くらいから説明会を実施した。光ファイバー敷設のための最低目標戸数は400戸だったが、現在500戸程度集まり、実施することが決まった。総事業費も示され予算もついている。最終的にはNTTが工事を行うが、近隣も含めて多くの市町村が同様の工事を行うこととなっており、まだNTTから工事のスケジュールは示されていない。国の予算もついている、少なくとも来年度には工事をやっていただけたらと思うが、まだ予定としか言えない状況である。工事を実施するのは基本的には決定している。

(31) 中学校の部活について【11/9 風連瑞生】

風連では生徒数の減少から、部活動もかなり少なくなっている。チームスポーツなどは学校の枠を超えて名寄中や名寄東中から受け入れてもらうことはできないか。

回答：教育部長

少子化により生徒数が少なくなったことから、団体で取り組む部活について1つの学校ではチームを組むことができない状況になりつつある。風連では女子バレー部がなくなり、野球部は下川町と共同でチームを組んでいる。他にも吹奏楽やテニス、卓球、剣道などがあるが、風連中学校だけではなく、名寄中や名寄東中でも同様に部活動が難しくなっている。学校でチームを作ることができないという状況のほか、指導者の確保も難しくなっている状況もある。Nスポーツコミッションでは、団体で行う部活については、市内で1つのチームを組むことや、体育協会に加盟して団体から指導者を派遣してもらうといった取り組みについて検討している。

(32) 小中学校の情報機器について【11/24 智恵文】

新型コロナウイルス感染症の流行により、今後再び学校が閉鎖になる可能性がある。将来を見据えながら、リモートで授業を受けることができるようなシステムを導入する予定はあるのか。

回答：教育部長

智恵文小学校と中学校の情報機器整備については、今年度中に1人に1つのタブレット端末を整備することになっている。智恵文小学校と中学校には現在光回線が来ていないが、智恵文地区で整備された段階で、光ファイバーに切り替えたいと考えている。学校で授業ができない時に自宅で授業を受ける方法など具体的なところまで検討が進んでいないため、情報機器活用のタイミングや方法について、現場の方々と協議したい。

(33) 智恵文沼について【11/24 智恵文】

沼の水深が浅くなっているなど、環境が悪化している。流入する川の川幅も3分の1ほどしかあいていない状況。環境改善のため、市から河川事務所など関係各所への要望を継続してほしい。

回答：副市長

要望として承る。

(34) 智恵文小学校と中学校の増改築について【11/24 智恵文】

智恵文小学校と中学校の増改築について、大変期待している。智恵文中学校の横に大きなイチイの木があり、これは智恵文の有志の方々に組織された「イチイの会」が20年位前に苦勞して移設したものである。今後校舎を増築する時に、この木がどうなるのか心配である。

回答：教育部長

小学校を現在の中学校の隣に増設する方針であり、設計会社からは増築場所について、校舎の南側か西側の2つの案が出ており、準備委員会の中で協議している。その結論はまだ聞いていないが、イチイの木についても触れられている。

(35) 都市部からの移住について【11/25 ふうれん地域交流センター】

最近、テレワークが推進されており、それに伴い都市部から地方への移住について報道取り上げられていることが多い。名寄市では移住者獲得のためにWi-Fi環境の整備や住居手当などを検討しているのか。

回答：総合政策部長

完全な移住となるとハードルが高いため、テレワークをしながら短期間地方で生活をする「ワーケーション」といわれる働き方に注目している。とある企業の社長は、名寄には非常に魅力があると感じており、来年は会社のワーケーションの場として利用したいと話している。我々はこれをチャンスと捉えて、広範囲へのアプローチではなく、ピンポイントで影響力のある方にアプローチし、さらにそこから紹介してもらうといった方法を用い、名寄の可能性をさらに広げていきたいと考えている。

回答：副市長

名寄市は魅力がある一方、足りない部分もある。現在、光ファイバーの整備を進めているが、テレワークとなると通信環境の良さが必要となる。通信環境を整備し、既存の魅力と同時に仕事をする上での条件も揃っているということアピールすることで、次のステップに進むことができると思う。

(36) バス路線とデマンドバスについて【11/25 ふうれん地域交流センター】

道北バスの路線が8号道路から国道を通行するように変更されたが、交通安全に関する問題は生じないのか。また、バスが走らなくなった場所の移動手段として、デマンドバスの運行について話題に上っているが、現在どの程度利用されている教えてほしい。

回答：企画課長

道北バスの路線変更は陸運局からの許可を得て実施しているため、安全性は一定程度確保されていると捉えている。デマンドバスの利用状況については、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少しており、1便あたりの利用人数は平均で1人台というところまで落ち込んでいるが、引き続き利用者の希望に応じて運行を継続している。道北バスの路線変更に伴い、空白となった部分については忠烈布線ハイヤー協議会にカバーする方法について相談しているところ。

(37) 風連別川に関する要望について【11/25 ふうれん地域交流センター】

風連別川について、機会があるたびに木の伐採などについて要望している。大雨時の増水について

も不安であるため、引き続き関係機関に要望をしてほしい。

回答：建設水道部長

風連別川をはじめ北海道河川については、今後も継続して要望していきたい。なお、風連別川については、本年度北海道が雑木の処理や浚渫を進めると聞いている。

(38) 高規格道路について【11/25 ふうれん地域交流センター】

高規格道路の工事が進んできているが、完成の予定がわかれば教えてほしい。それに伴い、道路排水が災害につながることを懸念しているのので、その可能性について教えてほしい。

回答：総務部長

高規格道路の進捗率は、用地進捗率89%、事業進捗率約76%となっている。しかし、完成時期については今の段階では情報が入ってきていない。

回答：副市長

地域の方々から、高規格道路により水口が変わることがあるとの意見を頂いているので、関係機関にも伝えたい。

(39) 王子マテリア名寄工場の跡地について【11/25 ふうれん地域交流センター】

跡地の活用プランが何点か出されており、その中にバイオマス発電での活用があった。バイオマス発電となると燃料が必要になるが、調達の見通しを教えてほしい。また、データセンターでの活用プランもあり、平均気温が低く、災害も少ないこの地方に向いており、実現すれば日本最北のデータセンターになる。同時にバイオマス発電所が建てば電源の確保もできるが、一番の問題は通信線だと思う。大容量通信網に接続するための通信線を札幌から名寄まで敷設する必要があるが、非常に莫大な経費がかかると思うので、そのあたりの見通し等を聞きたい。

回答：市長

バイオマス発電を提案した理由としては、燃料調達について具体的なことはこれからだが、元々木材を集荷しやすい立地であることと、王子グループが持っているリソースを活用できるの可能性があることが挙げられる。データセンターについては、稼働する際に熱を排出するため、寒冷地の方が電力消費量を抑えることができる。加えて地震など災害が少ないところが望ましいといわれており、名寄はその条件に合致している。しかし、札幌からの通信線の問題があり、このことは課題としては承知していながらも、王子ホールディングスや北海道にも提案をしている。

(40) 防犯カメラの設置について【11/25 ふうれん地域交流センター】

犯罪抑止や問題解決のために、防犯カメラの存在価値が最近見直されている。名寄市として防犯カメラの設置場所や設置個数を把握しているのか。市立大学の学生の多くが市街地の北側に住んでいるが、通学やアルバイトに行き来するために、暗い道を通ることが多いと思う。その防犯も含めて大学の近郊のアパートの入り口に1個でもいいので道路に向けて防犯カメラを付けたら良いと思う。議会の中でもそのような話があったと聞いている。防犯カメラ設置のために、市から補助をしてもらうことはできないか。

回答：市民部長

防犯カメラ設置状況について、市では把握はしていない。他市の事例では市の補助で町内会単位で防犯カメラを設置したが、市民からの反対で撤去することになった事例もあり、プライバシーの保護と防犯を合わせて実施するのは難しいと考えている。設置と運用にはかなりのコストがかかるため、現状では防犯カメラに頼らず、安全の啓発といった方法で対応したいと考えている。

(41) 市立大学の状況について【11/25 ふうれん地域交流センター】

昨年の収入支出の中で、市立大学については18億7千万円の支出があった。これに対して、大学があることでの経済効果はどのくらいあるのか。また、学生数とその出身地の内訳を教えてください。

回答：市立大学事務局長

今年度4月の段階で、市立大学の学生は781名だった。そのうち毎年3割ほどは道外出身者である。7割が道内出身者という比率はここ数年で変わっていない。今その781名が月に10万円ほど生活費を使うとすれば、相当な額になる。また18歳から22歳までの若者が常に780名程度名寄市内にいと、街の活性化など目に見えない効果があると考えている。

回答：副市長

何年か前に大学生の生活実態調査を実施したところ、月の生活費の平均が9万円台であり、それに学生数を掛け算すると8億円ほどが消費されていることになる。さらにその波及効果もあるため、実際に動いている金額はさらに多い。